



体温計

病院
NEWS

新しい診療科

緩和ケア内科 を開設しました

当院は、患者さんが全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう厚生労働省により指定された「地域がん診療連携拠点病院」です。平成28年12月1日より、新しい診療科として「緩和ケア内科」を開設しました。

「緩和ケア」とは、患者さんの苦痛を取り除き、患者さんとご家族にとって自分らしい生活を送ることができるように、生活の質「クオリティー・オブ・ライフ」を向上させ、前向きに生きる力を支える医療です。

今まで専門外来として診療を行っていましたが、このたび診療科として独立したことにより、より患者さんに寄り添った治療を行ってまいります。

病院
NEWS

第14回

静岡病院フェア

見てこ 聞いてこ
やって Go!

3月5日(日)
11時～15時

2年に1度の
チャンス!

- 超音波検査や腹腔鏡手術の模擬体験
- 血管年齢を測ってみよう などなど

静岡病院に遊びに来てね!



くわしくは
病院ホームページ、
または院内チラシで
お知らせします

子どもから大人まで
楽しめる企画が
もりだくさん!!

● 骨盤底筋エクササイズ

● 健康・栄養相談

Topics

- 今月のおはなし「呼吸器外科」〈肺がんで手術を受けることになった！いくらかかるのだろうか?〉
- 医療支援部門「検査技術科」をご紹介します
- 産後の育児を支える「しず Mama Room」はじめました
- 外来担当医・特殊外来一覧表 ● 医師人事異動情報 ● 病院からのお知らせ



副病院長兼呼吸器外科長 千原 幸司

呼吸器外科



「肺がんで手術を受けることになった！ いくらかかるのだろう？」

1970年頃、日本専売公社の屋上に「今日も元気だ、たばこがうまい！」という看板があった頃は、道路も駅の線路も吸い殻を捨てる場所ようになっていました。当時、成人男性の喫煙率はなんと84%で、くわえたばこで麻雀・パチンコが日常の風景でした。

時が経つとともに、たばこはいろいろながんを引き起こすばかりでなく、高血圧や心臓病、肺気腫など多くの病気の原因であることが明らかになり、米国のたばこ訴訟では、たばこ会社に対し、まるで罰でも与えるかのような高額な賠償金を命令する判決が相次ぎました。国も医療費がかさむので、たばこの箱にはっきりと「がんなどの原因です」と記載し、たばこの値段を引き上げていくことで、喫煙率は年々低下しました。

ちなみに、わが国の成人男性の喫煙率は1989年で61%、1998年で55%でしたが、値段が引き上げられた2008年は40%、2016年は29.7%となりました。よかった、良かった、それでもまだ30%。先進国の中では肩身が狭い数値ですが。

・・・でも肺がんは増える一方だと、マスコミなどが報じていますよ。そうです、そのとおりなのです。毎年、肺がんと診断される患者さんが増え続けています。なぜでしょうか？

たばこの煙に肺がさらされてから、欧米人では15～20年後、日本人では20～30年後に、肺がんが発症すると言われています。たばこの消費量の年次変化のグラフは戦後増え続け、1975年がピークとなり、2000年頃までほぼ同じ、その後、少しずつ減り続けています。

すなわち、たばこが原因の肺がんと診断される人は、2020年から2030年頃にピークを迎えると思われます。肺がんの大半はたばこに責任がありますが、たばこだけに原因を押し付けられない理由として、非喫煙の女性の腺がんが増えている、長生きされる方が増えている、検診や健診、他の病気の治療中に偶然発見される早期の小型の肺がんが増加している、などのことから、わが国の肺がん患者さんは増え続けているのです。

わが国の肺がんに対する手術は、この22年間で約10,000件/年から右肩上がりに増加して、約37,000件/年となりました。しかも、平均年齢70歳、80歳を超えた方が10%ほど！このような状況にも関わらず、患者さんに対する手術は手術関連死亡率1%という世界屈指の成績です。いかに元気な方が多いかということ、より体への負担が少ない手術や、麻酔と術後管理の工夫がもたらした結果と思われる。

安全・確実、 低コストな医療を目指して

私たちの手術も様変わりし、2000年頃は小さな開胸窓+モニター、2012年からはほとんどが4～5cmの皮膚切開と、3cm大の2つの小さな窓からカメラと手術器具を挿入してモニターを見ながら肺切除を行う胸腔鏡補助下肺切除（VATS）になり、月曜入院、火曜手術、週末から週明け退院で平均9日（全国平均13日）の入院日数となりました。また、手術料、麻酔料、薬剤、検査、入院諸経費などを合計すると、9日ほどの入院治療に要する医療費は、行った内容によって異なりますがおおよそ200万円ほどで、わが国の肺がんに対する4万人で計算すると、外科治療の費用はおおよそ800億円/年になります。最近の高額な薬剤に比べるとはるかに低額で、なおかつ長期の生存が望めるので、早期に発見して体への負担の少ない手術が現時点での良策と思います。

2009年度の医療費は35兆円、前年度比3.5%と増加し、その後も増加の一途で、2013年では40兆円を超えました。主に国民から1,100兆円の借金をして成り立っているわが国において、質の高い外科治療を提供し続けるにはコスト意識が必要です。私たちは、安全・確実、なおかつ低コストで持続可能な医療を目指し、手術では切除する肺葉の気管支や血管を糸で締めて切断しています。通常VATSではこのような操作は自動縫合器で行われることが多いのですが、経費は数円対数万円、得られる結果は同じで、安全、簡単、確実です。多少なりとも経費低減に貢献していると思います。もし、日本の肺がん手術の10%にこの方法を行うと、数億円の医療費節減になります。

さて、いざ手術となりました。手術を受けられる



手術室 胸腔鏡補助下肺切除（VATS）

外来診察室より

前列左から、
三由医師、千原副院長、野口医師
後列、医療事務スタッフ

日本における 呼吸器外科手術件数の年次推移

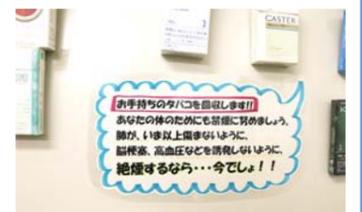


患者さんが実際払われる医療費は、70歳未満であれば医療費の3割、総額200万円であれば60万円ですが、高額療養費制度がありますので、患者さんの収入に応じて4万円から20数万円ほど、70歳以上であれば、収入に応じて1割～3割、8,000円～4万円ほどになります。どうぞ、自分が受けられる医療のコストがどれくらいになるのか、私たち医療者に気軽に聞いてみてください。

ともあれ、40歳代の喫煙率の低下がいま一つです。また、女性の喫煙者も増えています。もし、まわりにそのような方がいらっしゃれば、早めに、たばこの煙と縁を切る「絶煙」をお勧めください。

- キーワード 肺癌手術、コスト、診療報酬、胸腔鏡補助下手術、医療の質
- 文献 1) 日本呼吸器外科学会 HP <http://www.jacsurg.gr.jp/>
2) 日本胸外科学会 HP <http://www.jpats.org/>
3) 千原幸司、長島健一、島本光臣、
肺癌手術のコスト 第28回医学会総会 2011

診察室の壁には、「もう、今日からタバコはやめます!!」と、受診された患者さんが絶煙宣言の強い決意とともに置いていかれたタバコたちが。



科名	月	火	水	木	金
血液内科	岩井一也	前田明則	—	岩井一也	前田明則
緩和ケア内科 (予約のみ)	—	岩井一也	—	—	岩井一也
腎臓内科	午前 (初診) 午後 嶋田靖司(午前のみ) (白鳥君利) 白鳥君利	松本芳博 (松本芳博) 松本芳博	嶋田靖司 (嶋田靖司) 嶋田靖司	野島陽一 (野島陽一) 野島陽一	松本芳博 (松本芳博) 松本芳博
腎臓病予防看護外来	—	第 2・4 週のみ	—	—	—
腹膜透析外来	—	午後のみ	午後のみ	午後のみ	午後のみ
高血圧外来	白鳥君利	脇 昌子	杉山美帆	朴 貴典	松本芳博
内分泌・代謝内科	1 診 2 診	朴 貴典 交替	脇 昌子 清水洋佑(午前) / 杉山美帆(午後)	朴 貴典 柿栖奈保子	脇 昌子 杉山美帆
消化器総合センター					
消化器内科	初診 1 診 3 診 4 診	黒石健吾 高橋好朗 濱村啓介(午前) 鈴木博貴	近藤貴浩 濱村啓介 田中俊夫(午前) 河合 歩	杉本崇宰 小柳津竜樹 黒石健吾(午前) 星野勝一 河合 歩(午前) 鈴木博貴(午前)	奥村大志 小柳津竜樹(午前) / 高橋好朗(午後) 星野勝一 奥村大志
消化器外科	1 診 2 診 3 診 4 診	宮下 正 小林敏樹 杉山朋大 交替	橋本洋右 上田 翔 交替	前田賢人 川守田啓介 交替	藤本康弘 石黒義孝 米沢(9-13時) / 橋本(14-16時) 交替
スキンケア看護(ストーマ)外来	—	1・3 週、予約のみ	—	—	—
食道・胃外来	—	—	午前・午後	—	—
外科	1 診 2 診 3 診 4 診	宮下 正 小林敏樹 杉山朋大 交替	橋本洋右 上田 翔 交替	前田賢人 川守田啓介 交替	藤本康弘 石黒義孝 米沢(9-13時) / 橋本(14-16時) 交替
乳腺外来	午前・予約のみ	午前・予約のみ	午前・予約のみ	—	午前・予約のみ
そけいヘルニア外来	午前のみ	—	—	—	—
呼吸器内科	1 診 2 診 3 診	藤井雅人 佐野武尚 渡辺綾乃	野末剛史 山田 孝 柴田 洋	柴田 洋 野末剛史 渡辺綾乃	藤井雅人 山田 孝 阿部岳文
禁煙外来(予約のみ)	午後のみ	午後のみ	午後のみ	午後のみ	午後のみ
呼吸器外科	1 診 2 診	千原幸司 三由 僚	— —	千原幸司 野口未紗	— —
ハートセンター					
循環器内科	初診 1 初診 2 1 診 2 診	渡邊祐三 交替 縄田隆三 細谷奈津子	村田耕一郎 交替 小野寺知哉(紹介) 三竹啓嗣	小野寺知哉 交替 村田耕一郎 児玉圭太	竹内亮輔 交替 渡邊祐三 杉山博文
心臓血管外科	1 診 2 診	島本光臣 寺井恭彦	中井真尚 ペースメーカー外来 (宮野)	三浦友二郎 —	山崎文郎(初診) 後藤新之介
脳卒中センター					
脳神経外科	1 診 2 診	深澤誠司 —	深澤誠司 原 秀	深澤誠司 庄田健二	原 秀 竹中俊介
神経内科	木村公俊(非常勤) (11:00 まで)	—	交替(11:00 まで) 陣上直人(非常勤) / 奥田真也(非常勤)	—	陣上直人(非常勤) (11:00 まで)

科名	月	火	水	木	金	
整形外科	初診 1 診 2 診 3 診	交替	黒須(1・3・5 週) / 佐野・萩原(2・4 週) 澤田智一 森岡 聡 平松(1・3・5 週)	澤田・畑(1・3・5 週) / 森岡(2・4 週) 青木健太郎 佐野倫生 黒須健太	交替	平松(1・3・5 週) / 青木(2・4 週) 畑 佳秀 萩原和弘
腰痛・脊椎外来 股関節外来 骨粗しょう症外来 リウマチ外来 手・末梢神経外来 腫瘍外来 膝・足外来 肩・肘スポーツ外来				午後・予約のみ 午後・予約のみ 午後・予約のみ 午後・予約のみ		午後・予約のみ 午後・予約のみ 午後・予約のみ 午後・予約のみ
口腔外科	1 診 2 診 3 診	長谷川和樹/野里女明代 宮本日出雄 原園陽介	長谷川和樹/野里女明代 宮本日出雄 原園陽介	長谷川和樹 宮本/野里女 原園陽介	長谷川和樹 宮本/野里女 原園陽介	長谷川和樹 宮本日出雄 原園陽介
小児科	1 診 2 診	酒井秀政 大井 正	五十嵐健康 鶴野裕一	村田乃理子 交代制/(3 週、応援 医師 和田尚弘)	酒井秀政 鶴野裕一	五十嵐健康 大井 正
予防接種 乳児健診 小児アレルギー外来 小児内分泌外来 学童外来	毎週、午後・予約のみ	4 ヶ月・10 ヶ月 (毎週、午後・予約のみ)	1 ヶ月 (毎週、午後・予約のみ)	午後・予約のみ (酒井) 3 週午後・予約のみ (上松あゆ美) 午後・予約のみ	午後・予約のみ	午後・予約のみ
産婦人科	妊婦健診・再診 初診・再診	神藤(1・3・5 週) / 熊澤(2・4 週) 米澤真澄	米澤真澄 水野薫子/熊澤理紗	交替 交替	水野薫子 神藤里枝	交替 交替
不妊外来(初診)	—	—	水野薫子	—	水野薫子	—
泌尿器科	1 診 2 診 初診	松田 歩 新垣隆一郎 後藤修平	— — 交替	後藤修平 野口哲哉 松田 歩	交替 交替	松田(1・3・5 週) / 後藤(2・4 週) 野口(1・3・5 週) / 新垣(2・4 週) 野口(2・4 週) / 新垣(1・3・5 週)
スキンケア看護(ストーマ)外来	—	2・4 週、予約のみ	—	—	—	—
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1 診 2 診	池上 聡 桂 裕紀	藪内 咲 交替	池上 聡 濱口清海	桂 裕紀 濱口清海	藪内 咲 交替
音声嚥下外来 甲状腺外来 頭頸部腫瘍外来 アレルギー性鼻炎外来	午後・予約のみ			午後・予約のみ 午後・予約のみ		午後・予約のみ
眼科	1 診 2 診 3 診	交替、初診、紹介のみ	井上 亮 櫻井美晴	交替、初診、紹介のみ	井上 亮 櫻井美晴 井上志帆	井上志帆 櫻井美晴 堀井崇弘(非常勤)
皮膚科	初診 再診	交替 栗山幸子	田村愛子 交替	栗山(1・3・5 週) / 交替(2・4 週) 鈴木陽子 (受付は 11 時まで)	鈴木陽子 —	栗山幸子 田村愛子
形成外科	三倉文子	—	三倉文子	—	—	青山昌平
レーザー外来(予約のみ)	—	—	14~15 時	—	—	—
放射線治療科	池田 格/藤井康太	池田 格/後藤容子	池田 格	池田 格	池田 格	池田 格
精神科 (院内紹介のみ)	—	市川太祐	中村幸治	—	—	—

外来担当医表 ①

外来担当医表 ②

* 前号より変更があった箇所は、この表示になっています → 変更があった箇所 (緑色の斜め文字)

医師人事異動情報	採用 診療科名	氏名	採用日
	市民健診センター	矢野 真梨子	1 月 1 日

今月のクローズアップ
『医療支援部門』のご紹介シリーズ。
今月は『検査技術科』の仕事をご紹介します。

検査技術科



豊富な経験と知識で医療を支える

臨床検査技師

検査技術科では、「臨床検査技師」という国家資格をもった医療技術者が、血液や尿の成分を分析したり、心電図や超音波などの検査をしています。検査室は、検体検査6部門(生化学・血液・一般・輸血・微生物・病理)と生体検査1部門(生理機能)に分かれています。また、24時間体制で緊急の検査や輸血療法に対応しています。患者さんの体から出るサインは、採取された検体(血液、尿、便、喀痰、組織など)や、生体から得られる波形や画像などにさまざまな形で現れます。検査を通じてこれらのサインを把握し、病気の原因追求を行うことが、臨床検査の重要な役割になります。また、臨床検査は病気の診断だけではなく、治療の方針、経過確認、重症度の判定、予防医学にも利用されています。

臨床検査技師は、専門的な技術や知識を活かし、特殊な検査機器や検査システムを操作し、日夜の区別なく患者さんの診療に力を尽くしています。どちらかというと裏方の職域ですが、高度な急性期医療を行う病院にとって、非常に重要な役割を果たしています。また、外来採血業務、他職種との職員と協力し、院内感染対策、栄養サポート、心臓カテーテル検査、手術室でのモニタリングなどのチーム医療に携わっています。

チーム医療

医師 看護師
診療放射線技師 薬剤師
患者さんご家族
管理栄養士 作業療法士
臨床工学技士 理学療法士
言語聴覚士

今月は臨床検査技師



検査技術科 科長 外 輝雄

私たち臨床検査技師は、正確なデータを迅速に報告し、患者さんが安心して心地よく検査が受けられるよう、日々努力、工夫しています。今日の医療においては、病気を診断し治療方針を決める上で、臨床検査の役割は極めて重要です。そのため、幅広い知識と技術を学び、各専門分野の認定資格を取得して、信頼できる検査を行うよう、常に心がけています。これからも、採血業務や生体検査はもちろんですが、検体検査においても、「検体の向こう側に患者さんがいる」という気持ちを忘れずに、患者さんを第一に、質の高い医療を提供します。

病理検査室



組織や細胞の顕微鏡検査
手術や検査で採取した組織や細胞から標本を作製し、顕微鏡で観察して診断するのが病理検査です。当院は「がん診療連携拠点病院」にも指定されており、年間1万件以上の病理診断を実施しています。



2名の専門医と4名の細胞検査士を含む8名が協力し、病理診断を実施しています

微生物検査室



病原菌の有無や薬剤感受性の検査
血液、喀痰、便などの臨床材料から、感染症の原因となる細菌を検出して、有効な抗菌薬を調べます。県内唯一の第一種感染症指定医療機関である当院は、チフスやマラリアなどの海外渡航者感染症にも対応します。病原大腸菌O157、結核菌、ノロウイルスはもちろんのこと、病原微生物の豊富な取扱経験があり、質量分析機器などの最新機器も常備しています。



感染制御認定臨床微生物検査技師を含む4名の専任技師が、感染症診療、院内感染管理に積極的にかかわっています

中央分析室(生化学)



血液中の酵素やホルモンなどの検査
血液中に含まれる酵素や蛋白質、脂質、糖、電解質などの生化学項目や、ホルモン、腫瘍マーカー、感染症などの免疫項目などを測定し、各臓器の機能を調べます。100項目以上の検査を、検体到着後45分以内の結果報告を目標に、診察前検査の体制を整えています。



専任医師1名と技師5名は、患者さんから採取された検体を大切に扱い、早く正確なデータ報告を24時間安定して行うよう心がけています

検査技術科の仕事 臨床検査



診療支援のプロ集団「検査技術科」
全力でみなさんを守ります。

一般検査室



尿検査、便、脳脊髄液、胸水、腹水などの検査
一般検査では、尿定性検査(蛋白、糖、潜血反応など)と、尿中の細胞を顕微鏡で見る検査を行っています。また、ヒトヘモグロビン検査は便中の血液の有無を見つける検査で、大腸がんのスクリーニング検査として行っています。隣接する中央採血室では、1日350人から450人の採血を臨床検査技師が行っています。



臨床検査技師6名が一般検査と中央採血を連携し、迅速・丁寧な対応を心がけています

輸血管理室



血液型や交差適合試験などの検査や、輸血用血液製剤の管理
輸血による副作用を防止し安全な輸血を行うため、患者さんと血液製剤の適合性を調べる交差適合試験などを行っています。また、善意の献血から作られる貴重な血液を無駄なく使用するため、院内の輸血用血液製剤の保管や管理を一括して行っています。



日中は2名で対応していますが、夜間・休日には臨床検査技師全員で協力し、24時間体制で緊急輸血に対応しています

生理機能検査室



心電図・超音波(エコー)・肺活量などの検査

専用の医療機器を用いて患者さんに直接ふれ、さまざまな生体情報を波形や画像として記録します。その日、その時の体の状態がわかり、治療に役立ちます。心電図、超音波、肺活量の他に、脳波、聴力、平衡機能、運動負荷心電図、24時間の心電図、血圧の検査の解析も行っています。また、生活習慣病に合併する睡眠時無呼吸や動脈硬化に関する検査も行っています。



超音波検査士6名をふくむ17名が、精度の高い確実な検査を心がけ、「やさしい」検査室を目指しています

血液検査室



赤血球、白血球、血小板、ヘモグロビンなどの検査
血液検査は貧血や白血病などの病気の診断だけでなく、体の状態を把握する基本的な検査のひとつです。全自動血球分析装置を使用して、赤血球、白血球、血小板数などの算定や、血液塗抹標本を顕微鏡で観察し、血液細胞の形態、異常細胞の有無を調べています。



認定血液検査技師を含む4名のスタッフでチームワークよく、日々顕微鏡をのぞいています

産後の育児を支える 看護科だより

しずMama Room はじめました

西4階病棟より

助産師は、女性の生涯に渡る健康支援のスペシャリストです。いつでも女性のそばに寄り添い、必要なときは手をさしのべるのが仕事です。

当院の助産師は、主に妊娠・出産・育児期を主体に活動をしています。ホームページの「助産師だより」や、助産師外来「産前のしずMama Room」をご存知ですか。

静岡病院でお産をする妊婦さんのために、助産師による妊婦保健指導を始めて5年目を迎えました。妊婦さんは妊娠した喜びと同時に、体調の変化や赤ちゃんへの心配で気持ちが不安定になります。さらに、出産が近づくと、無事に産出できるかの不安が加わります。そのような妊娠中の体の変化、気持ちの変化に合わせて、安心して妊娠生活を送ることができるよう、「産前のしずMama Room」ではひとりひとりと向き合い、必要な指導を行っています。

最近では、育児相談をする近親者がおらず、産後の育児サポートを必要とするご家族が多くなっていますが、慣れない授乳や、赤ちゃんの泣いている意味がわからずに独りで悩んだり、どこに相談すればいいのかわからない方もいらっしゃいます。産後の1ヶ月間は育児に自信が持てず、マタニティブルーになる割合が高いと報告されています。

出産のための入院は6日間と短い時間です。育児の不安が解消されず、授乳の援助が必要な方に継続してかかわれるよう、12月から新たに「産後のしずMama Room」を始めました。授乳相談、乳房ケア、赤ちゃんの体重増加の確認など、退院後から1ヶ月健診までの母児を対象に、予約でひとりひとりに相談・指導を行います。育児が始まって感じる不安や心配ごとなどを助産師に相談してください。

私たちは、いつでも女性のそばに寄り添い、あなたが必要なときには、いつでも手をさしのべるように、準備しています。



～しずMama Room 週間予定～

	月	火	水	木	金
9～16時	妊婦相談	妊婦相談		妊婦相談	
10～14時			産後指導		産後指導

パンフレットもあります

- 外来診療時の受付時間 8:30～11:30 (一部、受付曜日や時間が異なる診療科があります)
- 担当医は、都合により変更することがあります(土・日曜日・祭日は休診です)

急病時の連絡先

- 救急外来 054-253-3125
 - 心臓救急 054-252-4399
- 24時間受け付けています

人間ドック	予約制、当日結果説明、昼食付
脳ドック	予約制(予約受付 月～金 10:30～16:00) 毎週火曜日実施、当日結果説明
健康診断	予約制(予約受付 月～金 10:30～16:00)

予約と受付は、市民健診センターへどうぞ

TEL: 054-253-3125
(内線 5350)
FAX: 054-253-3237

